

(8) 成長戦略へのシフト

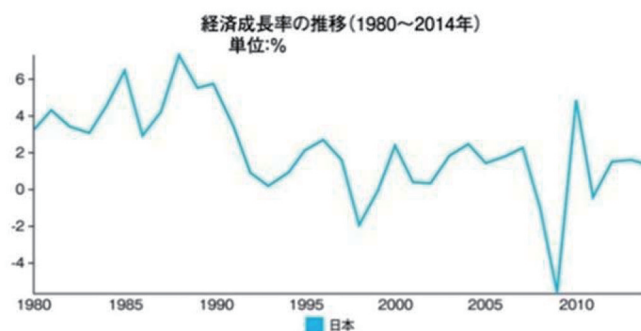
- 「日本再興戦略（平成 25 年 6 月閣議決定）」において、「困難な課題に挑戦する気持ちを奮い立たせ（チャレンジ）、国の内外を問わず（オープン）、新たな成長分野を切り開いていく（イノベーション）ことで、澁んでいた人・モノ・カネを一気に動かしていく（アクション）」成長戦略が打ち出され、成長戦略では、「民間の力を最大限引き出す」「全員参加・世界で勝てる人材を育てる」「新たなフロンティアを作り出す」ことが成長への道筋と位置づけられた。
- この成長戦略の推進に当たっては、インフラ産業も、大きな貢献を果たしていかなければならない。

1) 我が国の経済状況の推移

我が国経済は、10 年以上にわたりデフレから脱却できない状況にある。長期にわたるデフレの背景には、需給ギャップの存在、企業や消費者の成長期待の低下、デフレ予想の固定化といった要因が挙げられる。

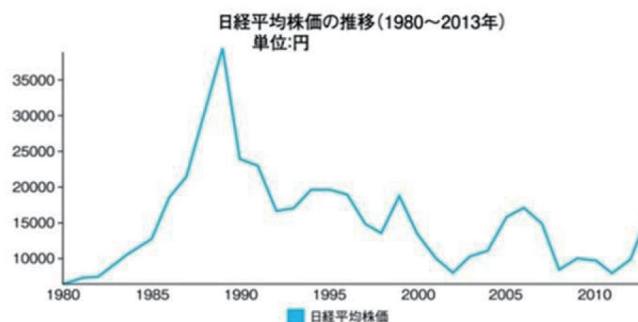
現在の景気は、2011 年に発生した東日本大震災の復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつあるが、現在も緩やかなデフレ状況は続いている。

図 2.48 経済成長率の推移 (1980 ～ 2014 年)



出典:「IMF World Economic Outlook Databases」により作成

図 2.49 日経平均株価の推移 (1980 ～ 2013 年)



出典:「IMF World Economic Outlook Databases」により作成

2) 成長戦略へのシフト

デフレマインドを一掃するための大胆な金融政策という第一の矢、そして湿った経済を発火させるための機動的な財政政策という第二の矢を放つとともに、第三の矢としての成長戦略である「日本再興戦略」が平成 25 年 6 月に閣議決定された。

成長戦略の中では、「民間の力を最大限引き出す」「全員参加・世界で勝てる人材を育てる」「新たなフロンティアを作り出す」ことが成長への道筋と位置づけられた。

また、成長戦略を実行・実現するものとして、「日本産業再興プラン」「戦略市場創造プラン」「国際展開戦略」の3つのアクションプランを定め、政策項目ごとに明確なせいり指標を設定し、PDCA サイクルを回し、進捗管理することとした。

○日本産業再興プラン

- ・グローバル競争に勝ち抜ける製造業を復活し、付加価値の高いサービス産業を創出する。
- ・企業が活動しやすく、個人の可能性が最大限発揮される社会を実現する。

○戦略市場創造プラン

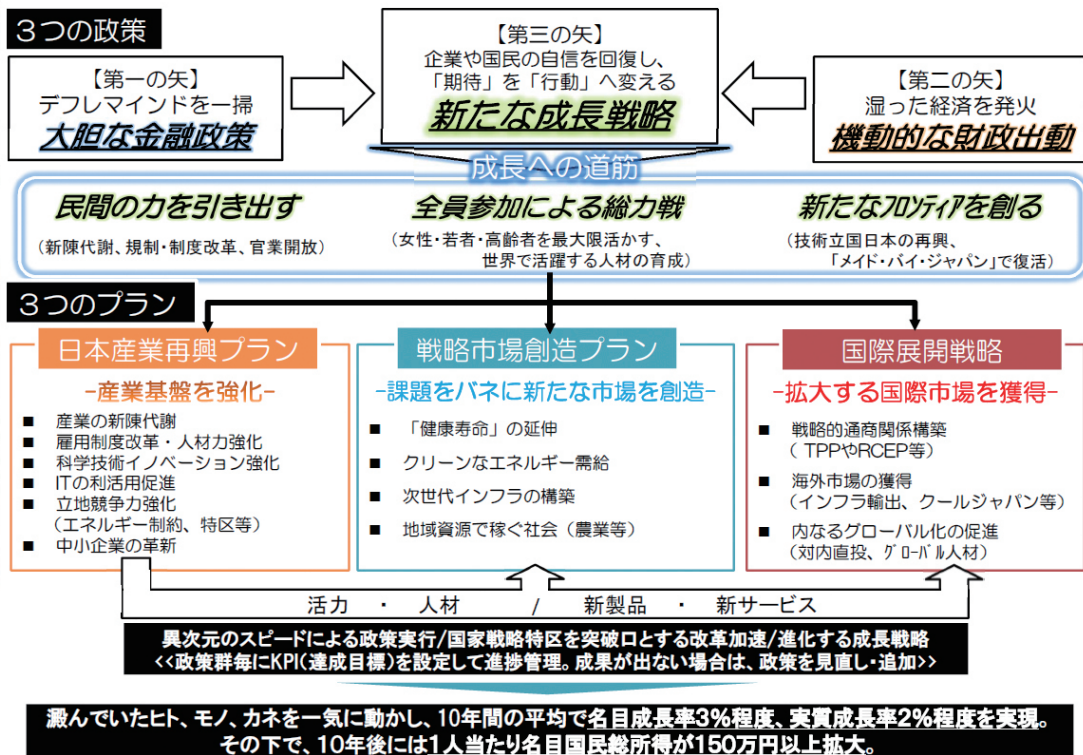
- ・世界や我が国が直面している社会課題のうち、日本が国際的強みを持ち、グローバル市場の成長が期待でき、一定の戦略分野が見込める4つのテーマを選定し、これらの社会課題を世界に先駆けて解決することで、新たな成長分野を切り開く。

○国際展開戦略

- ・積極的な世界市場展開と、対内直接投資拡大等を通じ、世界の人、モノ、お金を日本に惹きつけ、世界の経済成長を取り込む。
- ・日本国内の徹底したグローバル化を進める。
- ・政府一体となって、国内外で官民一体による戦略的な取組を進める。

また、1年間の進捗管理等を踏まえ、平成 26 年 6 月には『日本再興戦略』改訂 2014 が閣議決定され、「日本再興戦略」で残された課題としていた、労働市場改革、農業の生産性拡大、医療・介護分野の成長産業化等の分野にフォーカスして、解決の方向性が提示された。

日本再興戦略 -JAPAN is BACK- (平成25年6月14日閣議決定)



「日本再興戦略」改訂2014の概要

改訂の基本的考え方

- この1年間、「3本の矢」によってもたらされた変化を一過性のものに終わらせず、経済の好循環を引き続き回転させていく。
- そのため、日本の「稼ぐ力=収益力」を強化。同時に、「日本再興戦略」で残された課題(働き方、医療、農業等)にも対応。
- デフレ状況から脱却しつつある今こそラストチャンス。企業経営者や国民一人一人に、具体的な行動を促していく。

1. 日本の「稼ぐ力」を取り戻す

改革に向けての10の挑戦

①「企業が変わる」～「稼ぐ力」の強化

- ①《コーポレートガバナンスの強化》
-コーポレートガバナンス・コードの策定
- ②《公的・準公的資金の運用の在り方の見直し》
-GPIFの基本ポートフォリオ、ガバナンス体制の見直し
- ③《産業の新陳代謝とベンチャーの加速、成長資金の供給促進》
-大企業を巻き込んだ支援、政府調達への参入促進、ITベンチャー等の供給

④「国を変える」

- ④《成長志向型の法人税改革》
-数年で法人実効税率を20%台まで引き下げることを目指す
- ⑤《イノベーションの推進とロボット革命》
-革新的な技術からビジネスを生み出すナショナルシステム
-ロボットによる社会的課題の解決と新たな産業革命

2. 担い手を生み出す～女性の活躍促進と働き方改革

⑥女性の更なる活躍促進

- 学童保育の拡充
- 女性就労に中立的な税・社会保障制度等の実現

⑦働き方の改革

- 働き過ぎ防止のための取組強化
- 時間ではなく成果で評価される制度への改革
- 多様な正社員の普及・拡大
- 予見可能性の高い紛争解決システムの構築

⑧外国人材の活用

- 外国人技能実習制度の見直し
- 製造業における海外子会社従業員の受入れ
- 特区における家事支援人材の受入れ
- 介護分野における外国人留学生の活躍

3. 新たな成長エンジンと地域の支え手となる産業の育成

⑨攻めの農林水産業の展開

- 農業委員会・農業生産法人・農業協同組合の一体的改革
- 酪農の流通チャネル多様化
- 国内外とのバリューチェーンの連結(6次産業化、輸出の促進)

⑩健康産業の活性化と質の高いヘルスケアサービスの提供

- 非営利ホールディングカンパニー型法人制度(仮)の創設
- 個人への健康・予防インセンティブの付与
- 保険外併用療養費制度の大幅拡大

成長の成果の全国波及

地域活性化/中堅・中小企業・小規模事業者の革新

- 地域活性化施策をワンパッケージで実現するプラットフォームの構築
- 中堅・中小企業・小規模事業者によるふるさと名物応援と戦略産業の育成
- 地域ぐるみの農業の6次産業化、酪農家の創意工夫、魅力ある観光地域づくり
- PPP/PMを活用したインフラ運営の実現

地域の経済構造改革

- 都市機能や産業・雇用の集約・集積とネットワーク化
- 東京への人口流出の抑制
⇒司令塔となる本部の設置、政府一体の推進体制の構築

更なる成長に向けた対応 実現し進化する戦略/経済の好循環のための取組の継続/改革への集中的取組み(国家戦略特区の強化等)